

令和6年度 天草市立天草小学校グランドデザイン

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- 熊本県児童生徒教育指導の指針
- 熊本県教育振興基本計画
- 県教育庁各課取組の方向
- 天草教育事務所取組の方向
- 天草市教育委員会グランドデザイン

学校教育目標
学習したことを生活にいかす力の育成
 ～自ら考え、進んで行動する体験活動を通して～

- 〈地域・児童の実態〉
- 県西部、天草下島の西端に位置する。
 - 少子高齢化が進んでいる。
 - 保護者の学校・教育に対する関心は高く、協力的である。
 - 児童は素直である。自主性・積極性をさらに伸ばしたい。

校訓
感謝 努力 夢実現

めざす子供の姿

- 感謝：感謝の気持ちを持ち、笑顔でがんばる子ども
 努力：努力を重ね、一步一步前進する子ども
 夢実現：なりたい自分に向かっていく子ども
- 「思考力・判断力・表現力」「人間性」
 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」
 「学びに向かう力・人間性等」

育てたい資質・能力

- これまでの学習や経験から考えた自分の思いを、的確に表現する力
- 自分や他者のよさを認め合う力
- よりよい自分を目指して、他者と協力しながら進んで学習や生活に取り組む力

めざす学校の姿

- 地域とともにある学校
- あいさつが響き合う学校
- 安全・安心で保護者や地域に信頼される学校

めざす教師の姿

- 「愛情」教育的愛情を持って、児童に寄り添う教師
- 「一致団結」チーム天小としてのプライドを持って協働する教師
- 「向上心」自己研鑽に励み、授業力向上のために努力する教師

本年度学校経営の基本方針

- ①確かな学力の定着
天小スタイルを継承しながら、児童一人一人の学力の定着を図る。個別最適な学びと協働的な学び合いの学習スタイルを確立する。
- ②天草体験学習のさらなる充実
これまでの反省をいかしながら、持続可能な単元計画を整備する。ふるさとのよさを知り、ふるさとが好きと言える子供を育てる。
- ③一人一人の居場所づくり
子供が安心して笑顔で登校できる学校や学級づくりを目指す。一人一人の児童理解のために、特別支援教育の研修に努める。
- ④関係諸機関との連携の充実
学級間、教師間、学校間（小中）、地域や行政との連携を図り、地域全体で子供を育てるといふ風土を培う。

小中連携

- 1 発表（表現）する力の向上
- 2 家庭学習の充実
- 3 合同運動会の準備

本年度の具体的実践事項

家庭

【天草町保小中連携カリキュラム「はつらつ天草っ子」】

- ①学習
 - (1)家庭学習 時間の確保
 - (2)自主学習 賞賛と励まし
 - (3)学力調査等の結果 親子で内容を共有
- ②生活
 - (1)あいさつ
 - (2)天草っ子チャレンジデー ノーテレビ・ノーゲーム 持ち物の整理整頓
 - (3)家庭読書の奨励
 - (4)スマホ・ゲームのルールづくり
 - (5)う歯治療
 - (6)早寝・早起き・朝ご飯
 - (7)夜10時までの就寝

学校

学力づくり

- 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- 指導方法の工夫改善
- 学力向上検証サイクルに基づく取組の推進
- 特別支援教育の推進

心づくり

- ふるさとを愛する心の育成
- 人権教育の充実
- 「特別の教科 道徳」の推進
- 読書活動の推進

体づくり

- 健康教育の推進
- 安全教育の推進 (交通、生活、防災)
- 体育活動の充実
- 食育の推進

教育環境づくり

- 整えられた校内環境づくり
- 保小中連携の充実
- 地域とともにある学校づくり

地域

- ①あいさつの推奨
- ②見守り隊の活動
- ③地域学習への協力
- ④読み聞かせ活動の協力
- ⑤学校応援団の協力

基盤として

「自己決定・自己存在感・共感的人間関係」に基づく授業づくり、学級づくり、豊かな体験活動、安心・安全な風土、信頼される学校づくり